

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 大河原町立大河原小学校 (※正式名称を記載)  
種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他 (例：小中高一貫 )  
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒989-1241  
宮城県柴田郡大河原町字町100  
E-mail daisy@ogawara-k.miyagi.jp  
Website http://www.ogawara-k.miyagi.jp/daisy/  
児童生徒数 男子 415 名 女子 415 名 合計 830 名  
児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「豊かな人間性と創造性を持ち、社会の変化に主体的に対応し、将来への夢や希望をもってたくましく生きる、心身ともに健康な児童の育成」を学校教育目標として掲げ、ESD を「伝統文化の継承者として、自分にできることを考え、実践していくこと」と捉えた。そして、ESD の実践をとおして、伝統文化や地域と自分たちの繋がりを再認識し、地域や伝統文化の今後のあり方・自分たちの関わりについて考えたり、地域や文化に対する将来への責任や地域との相互性等について考えたりする力の育成を目標とした。

具体的には、地域の伝統文化に関する学習と SDGs 目標 3 を柱に、①伝統文化に関わる活動、②小児保健に関わる活動を行った。

### ① 伝統文化に係わる活動

○茶道体験

- ・クラブ活動 (4 年～6 年) の一環として、茶道クラブの活動の際に、地域の方々に御来校いただき、茶道の作法等を教えていただいた。また、第 6 学年対象とした茶道教室も行った。

○民謡指導

- ・「大河原町音楽祭」での第4学年の発表に際し、「大河原町文化協会」の皆様にご協力いただき、民謡「さんさ時雨」を指導していただいた。音楽発表会の際にも、伴奏者として御参加いただくと共に、一緒に演奏を行い、達成感を得ることができた。

○昔の遊び体験活動

- ・第1学年の生活科の学習の一環として、地域の婦人会や老人会等にご協力いただき、お手玉や竹馬等の昔の遊びを教えていただいた。

②小児保健に関わる活動

SDGsの目標3：あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進することに関わって、特に小児保健についての理解を深めた上で募金活動に取り組んだ。昼の放送での呼び掛けや、6年生の算数の授業の課題に小児保健に係るデータを扱うなどして、理解を深めることができた



①の写真（茶道体験活動）



①の写真（民謡指導）



①の写真（昔の遊び体験活動）



②の写真（募金活動の趣旨）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な	<input checked="" type="checkbox"/> 12. 貧困

		生産と消費	
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

ウェブサイト 国際連合広報センター SDGs を広めたい・教えたい方のための「虎の巻」
---

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程 (指導計画) にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。(200～300字程度)

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

<p>先に掲げた①伝統文化に関わる活動, ②小児保健に関わる活動について、教育計画に位置付けている。</p> <p>①伝統文化教育については、別添資料1のとおり、年間のカリキュラムの中に位置付けて系統的に指導を行っている。様々な教科の中にある伝統文化の要素を取り出し、系統立てたものである。</p> <p>②小児保健に関わる活動については、児童会活動のうち計画委員会の活動内容として、募金活動を計画しており、募金活動の目的周知の中で、小児保健に重点をおいて進めている。</p>
--

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項 1-4 に対応

校務分掌にしたがって主担当者を決め、それぞれの活動の推進役を担っている。年度初めには前年度担当者からの引継を受けるとともに、各活動開始前には職員会議において活動の趣旨や進め方を全職員で共通理解してから始めるようにしている。また、活動の記録はファイルとして蓄積し、次年度の担当者に引き継ぐことで、組織的かつ継続的な活動となるよう留意している。特に、ゲストティーチャーを招いての活動については、次年度以降の活動についても依頼を済ませておくなど、地域とのつながりが持続的なものとなるよう努めている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度)

※チェック事項 1-5 に対応

内部評価として、職員による自己評価項目に特色ある教育活動として、「伝統文化に関わる教育活動」の項を設けている。また、外部評価としては、保護者による評価項目に「地域との連携に関わる教育活動」の項を設け、伝統文化教育についての評価を行っている。

これにより、特に地域の方を招いての教育活動について、内容、質、成果の発表について、教職員・保護者共に高い評価を得たことから、今後も地域との関わりを大切にしながら推進していく方向性が見えた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度)

※チェック事項 2-2 に対応

活動内容のホームページでの発信と、学校及び学年だよりでの発信が主である。民謡指導等については、音楽発表会や運動会で発表する機会を設け、来場いただいた保護者や地域の方にも披露した。本校の代表的な特色ある活動として定着してきており、地域の方が毎年の発表を楽しみにしていたり、下学年の児童が憧れの気持ちをもったりすることなどが、学びの成果を発信することによる効果であると考えている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）  
（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

前述した活動について、大河原町文化協会の方に、民謡や町の郷土芸能について例年講師をお願いしている。地域の方がその講師役となることで、地域コミュニティとの連携が図られていると感じている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

この点については、取組が不足しているので、今後交流活動などについて検討していきたい。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項 2-5 に対応

特に、伝統文化に関わる外部の方からの指導について、先人としての地域の方とのつながりを核として、年長者を敬う態度や、地域の伝統的な文化を大切にしようとする気持ちが高まっている。また、次の学年に引き継ぐ活動を継続してきたところ、隣接する学年間での学び合いや関わり合いを大切に、憧れの気持ちや自校の活動に誇りをもつ児童が増えてきている。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

今年度の実施内容を継続していくことを大切にしたい。同じことを継続することで生まれる、「伝統を受け継ぎ、引き継ぐ」という活動は、児童の伝統文化に対する畏敬の念を高めるだけでなく、それを伝えてきた人々の願いや、これからの後輩に対して、自分がなすべきことを強く自覚させるものということがみえてきた。

自分の学校の中でのこうした思いを、世界の子供たちにも目を向ける活動をとおして再認識し、恵まれた環境にいることを自覚し、自分たちができることを世界に広げていこうとする力を育んでいきたい。